

中期経営計画（24-26）

「Reaching new heights ～新たなステージへ～」をスローガンに、業界のリーディングカンパニーとして、お客さまの安全と地球環境に配慮した新たな価値を提供するための戦略を推進します。

中期経営計画の基本方針

スローガン	主要経営指標	キャッシュ・アロケーション
Reaching new heights ～ 新たなステージへ ～	売上高3,300億円 営業利益 300億円 ROIC8.0% ROE9.5%	前向き投資 300億円以上 運転資本確保 600～700億円 株主還元 配当性向30%目安

基本戦略

① 脱炭素化を加速

- 環境対応製品の拡充(Tadano Green Solutions)

② 新たな領域への挑戦

- 高所作業車を世界展開
- 既存の「当たり前」を変える事業展開
- 新技術への挑戦と製品化

③ 強みを活かしたものづくり改革

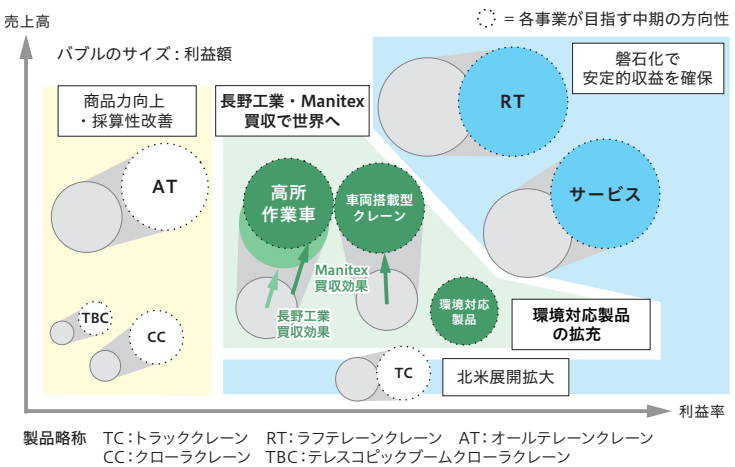
- 開発・生産の最適化
- 欧州事業の収益化

④ 変革を支える足場固め

- 地域の強みを活かした販売
- サービス力の強化
- 生産の自動化・省人化
- 経営戦略に連動した人財基盤の強化

中期の方向性〈事業ポートフォリオ〉

既存ビジネスの拡大・磐石化と新規事業展開の両立



4つの基本戦略

① 脱炭素化を加速

建設現場の環境対応をリード

- 環境負荷の無い製品を「Tadano Green Solutions」と位置づけ、ラインナップの拡充と拡販を進めます。

③ 強みを活かしたものづくり改革

日・独・米（開発・生産拠点）それぞれの強みを活かした最適なものづくりへ

- 最適なものづくり体制を構築し、収益力の最大化と安定供給を図ります。
- 欧州で生産しているオールテレーンクレーンについて、ドイツの工場集約、小型モデルの日本生産移管により、コスト競争力と品質・納期の安定性を改善します。

持続的な成長に向けた取り組み

資本コストや株価を意識した経営

持続的な成長と中長期的な企業価値向上による、PBR1.0倍以上の達成と維持

- 資本コストを意識した経営の浸透と定着
- キャッシュ・アロケーションと株主還元
- ステークホルダーとの対話

脱炭素化を加速

① 脱炭素化を加速

建設現場の環境対応をリード

- 2023年に世界初のフル電動ラフテレーンクレーン「EVOLT eGR-250N」の販売を開始。走行、クレーン作業双方でのCO₂排出ゼロを実現しました。
- 環境負荷の無い製品を「Tadano Green Solutions」と位置づけ、ラインナップの拡充と拡販を進め、環境対応をリードしてまいります。

電動RT「EVOLT」の世界展開

- 23年日本、24年北米、そして欧・豪へ
- 電動化の積極展開で世界のRTを牽引

脱炭素製品ラインナップ拡充

- e-PACK、EVトラック利用高所作業車、Hybrid製品、洋上風力設備用クレーンなど
- 風力発電の建設・整備時にもCO₂フリーに



高所作業車を世界展開

② 新たな領域への挑戦

既存の「当たり前」を変える新たな事業展開

- これまで日本を中心に販売してきた高所作業車の海外展開を加速します。
- 長野工業（現 タダノユーティリティ）グループ化による製品ラインナップの拡充、開発・生産面でのシナジー発揮により新たな製品づくりを進めます。
 - ▶自走式高所作業車を海外市場の主力製品に
 - ▶電動高所作業車を環境対応製品の新たな選択肢に
- RTで培ったブランド力と世界中の販売ネットワークをフル活用した拡販に取り組みます。

自走式高所作業車の世界市場規模（当社推計）



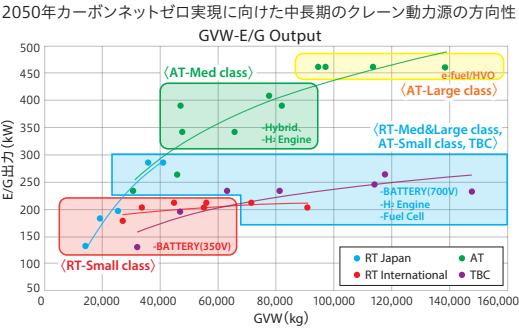
強みを活かしたものづくり改革

③ 強みを活かしたものづくり改革

日・独・米（開発・生産拠点）それぞれの強みを活かした最適なものづくりへ

- 当事業は多品種少量生産であり、ボリュームに頼らない生産効率の改善やコスト低減は、当社だけでなくサプライヤーにおいても大きな課題です。日・独・米それぞれの強みを活かした最適なものづくり体制を構築し、収益力の最大化と安定供給を図ります。
- 当社の設計思想である「TKN: T=作りやすい K=壊れにくい N=直しやすい」をグローバルに展開し、設計段階から当社だけでなくサプライヤーの作りやすさ・コスト低減を意識したものづくりを推し進めます。
- 欧州で生産しているオールテレーンクレーンについて、ドイツの工場集約を進め生産効率を改善します。小型モデルは日本生産へ移管し、コスト競争力と品質・納期の安定性を改善します。

世界最適調達（購買）	世界最適生産（地域）	世界共通生産
●サプライヤーとの関係を深め、一体となり、製品を安定供給 ・サプライヤーの作りやすさやコスト低減に協力、共に成長 ・欧州では主要サプライヤーとの戦略的な関係を構築	●テクノロジーと高い溶接技術を活かしたドイツ生産 ・中大型AT・CCは欧州で ●コスト競争力と納期の安定性を兼ね備えた日本および米国生産 ●CO ₂ 削減に配慮しモーダルシフトを可能にする瀬戸内海 ・小型ATは日本で	●TKN活動*のグローバル展開 ●日・独生産部材の統一で、安全・品質に加え、生産を効率化 ・キャブ・ブームなどの構造や部材の統一・共通化 ・最先端の生産設備導入と自動化推進 *TKN:「T=作りやすい K=壊れにくい N=直しやすい」をコンセプトとした当社の設計思想



●点(ドット): 横軸にサイズ(GVW)、縦軸に搭載エンジン出力(kW)を取り、当社の現行ラインナップのポジションを表したものを。
●近似線(実線): クレーンタイプごとのラインナップの広がり明示したもの。

- 日本向けRT(=公道走行可 青線)とAT(=公道走行可 緑線)はサイズが大きくなれば大型エンジンが必要。フル電動化モデルは小型機に限定され、大型になるにつれ、Hybridや代替燃料による環境対応が中心に。
- 海外向けRT(=公道走行不可 オレンジ線)とTBC(紫線)はサイズが大きくなっても中型エンジンで動作可能。クレーン機能の動力源のみ必要となり、フル電動化の可能性も高い。